

和洋九段女子と教育交流提携

教育交流提携協定を結んだ本学と和洋九段女子の関係者



専修大学と和洋九段女子中学校高等学校(千代田区、水野修校長)は、教育交流提携に関する協定を結び、3月18日に調印式を行った。今後はさまざまな教育交流プログラムを展開するほか、教育交流提携校推薦入学試験を実施する。

和洋九段女子は中高一貫の私立校で、2022年に本学と高大連携協定を結び、交流してきた。本学の教育交流提携校は5校目で、中学校を含めた協定締結は2校目となる。

馬場学長が、「両校の関係性を発展させられたことをうれしく思う。これからも学生と生徒が成長できる場をつくっていきたい」と話すと、水野校長は、「今後は、千代田区という地域に根差した学びや活動にも一緒に取り組む」と期待を寄せた。

寄稿 経営・佐藤康一郎ゼミ 福島県訪問

東日本大震災から15年となる今年、3月10日から2泊3日で私たち佐藤康一郎ゼミナールは福島県を訪問した。震災当時幼稚園であった私たちは、震災の経験を記憶している世代として、被災地の現実をこの目で見たいと思ったのである。

被災地の現在と課題を学ぶ



や東日本大震災・原子力災害伝承館等を見学した。最終日は田村市役所を訪問し、渡邊賢一副市長と総務部企画調整課の方々との意見交換会等を実施した。

実際に訪れたことで、福島県の現状について深く知ることができた。今までニュースなどで見ていた様子はごく一部であり、実際には15年前から時間が止まっているような場所が多いことも分かった。副市長らとの意見交換では、福島第一原発の廃炉問題や帰還困難区域も残る中、少子高齢化や過疎化についての課題も抱えていると知り、まだ支援が必要であると強く感じた。

今回、15年の節目に福島県を訪れたことで、現地の課題を自分ごととして考えるようになった。わずかながらあるが震災当時の記憶を持ち、ほんの一部であるが被災地の現実を知った者として、未来になく役割を果たしたい。

(経営学部4年次・岡本希美)



26年度中期留学プログラム(前期)

中期留学プログラムは、本学の国際交流協定校・研修校に4〜5カ月間留学し、外国人留学生を対象に開講されている集中語学コースに参加する留学プログラム。留学期間を前期か後期で選択できる。また、18単位を上限に教養または専門科目に認定される(学部学科、学年により取り扱いが異なる)。

2026年度前期の留学先と派遣期間、氏名は次の通り。(敬称略)

- カルガリー大学(カナダ、4月4日〜7月19日)
- ▽坂場翔一(経済3)▽高本翔真(経済3)▽齋藤陽太(経営2)▽大野功太郎(商3)▽亀田瑠華(文3)▽小山光夏(文3)▽白井陽菜(文3)
- ▽伊田彩海(文3)▽渡辺叶人(文2)▽久保田こころ(文2)
- ウィロンゴン大学(オーストラリア、4月5日〜8月15日)
- ▽平田侑璃(法3)▽望月航(経営3)▽佐藤希紀(文3)▽岡田侑弥(文3)▽村尾和花(文3)
- ▽阿部百恵(文3)▽山本実佳(文2)▽松原怜(文2)
- ワイカト大学(ニュージーランド、4月24日〜8月9日)
- ▽大和若菜(経営3)▽中島優大(文3)▽大房悠海(文2)

SKV・SIV 石巻で合同合宿 3・11追悼行事に参加



式典ではバルーンリリースの補助を行った

専修神田ボランティア(SKV)と専修生田ボランティア(SIV)の学生34人が、3月10日、宮城県石巻市で合同合宿を行った。東日本大震災追悼行事のボランティア活動に参加し、鎮魂と防災の思いを新たにしました。



灯ろうを並べる学生

本学は、震災発生直後から学生や職員有志が石巻を訪問し、ボランティア活動を行ったり、地元の子どもたちと交流したりしてきた。3年前からは災害への理解を深め、今後の活動に生かすことを目的に、地震発生後の3月11日にあわせて、学生部傘下団体のSKVとSIVの合同合宿を実施している。

今年も石巻南浜津波復興祈念公園で開催された「3・11のつどい」で、石巻専修大学の学生や地

元の方々、全国から集まったボランティアスタッフとともに会場設営や運営に協力した。

学生たちは「がんばろう!石巻」の看板前での4000個の灯ろうの配置や、バルーンリリースの補助を行った。日暮れとともに灯りがともされると、会場には夜遅くまで多くの人が訪れ、犠牲者を悼んでいた。参加した学生の一人は「震災発生から15年がたち、年々ボランティアが減少しているという中で、大学生の力を役立てることができてよかった。風化させないためにも継続した活動が大切だと感じた」と話す。

初日と最終日は震災遺構の大川小学校や門脇小学校などを訪問。地域の方々から津波発生時の様子などを聞いた。また、石巻市教育委員会を訪問し、鳳祭での売り上げ金を寄付した。

8氏に名誉教授称号記



専修大学名誉教授称号記授与式が4月1日、生田キャンパスで行われた。馬場学長、松木健一理事長、日高義博総長らが列席し、次の8氏に称号記が授与された。

佐藤雅幸元経済学部教授
宮崎晃臣元経済学部教授
山田節夫元経済学部教授
深澤民司元法学部教授
増田英敏元法学部教授
飯尾秀幸元文学部教授
松尾谷孝元文学部教授
広瀬裕子元人間科学部教授

校友会情報

全葉県支部連合会総会
▽5月23日(土) 10時40分〜▽千葉工業大学津田沼キャンパス(習志野市)
川崎支部総会
▽5月30日(土) 14時〜▽生田キャンパス3号館「蒼翼の間」

※支部総会に関するお問い合わせ(校友会事務局) TEL:03-3265-7579

無料法律相談会
校友会職域支部の専修大学法曹会が主催する「無料法律相談会」(後援)校友会、今村法律研究室)が開催される。

2026年	10月13日(火)
5月11日(月)	11月10日(火)
5月25日(月)	12月8日(火)
6月8日(月)	2027年
6月22日(月)	1月12日(火)
7月6日(月)	2月9日(火)
9月8日(火)	3月9日(火)

4月15日刊行の校友会誌「鳳翼」115号では、お笑いコンビ・ペナルティのヒデさん(平6法)と、大正大学で教鞭を執りつつ、地域活性化のスペシャリストとして全国を奔走する北條規さん(昭54経済)が登場。



鳳翼115号刊行